
SS 「亡国の王子」

White Seal

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

SS 「亡国の王子」

【Nコード】

N43340

【作者名】

White Seal

【あらすじ】

超短編小説。ある存在に自分の国を滅ぼされた王子が復讐を誓う。

(前書き)

はじめまして、White Seal)和名…シロアザラシ)です。

初投稿にして一応僕の処女作となっております。

拙文は大目に見てもらえると幸いです。

SS 「亡国の王子」

それは悠久の楽園の、刹那の終焉。

日が墜ち、夜が訪れた。

街は焼け、城は崩れた。

信仰は消え、神は去った。

御使いは墮ち、魔が顕れた。

国王は発狂し、忠臣は処刑された。

民は迷走し、兵は私掠を始めた。

全ての原因は、あの男。

得体の知れぬ、黒衣のダークエルフ。

七罪を冠する、邪悪と墮落の象徴。

今の私に“アレ”を弑する術はない。

“アレ”は異教の邪神に連なるモノ。

未だ人たる私に敵う道理などありはしない。

ならば。

“アレ”が正道にて敵わぬ邪道だというのならば。

私は魔道に身を墮とし、その秘奥を以って“アレ”に追随する。

そこに迷いはなく、悲しみもなく、未練すらもない。

私は亡びた国の狂える王の子。最早人の世に私の居場所は存在しない。

私に残されたものは、ただ深く、ひたすらに昏きこの復讐の念のみ。

……………さて、着いた。

王立図書館跡地。

その地下最奥部の秘匿の間。

ここに在るのは、“アレ”ですら解放を避け、しかし処分もできず死蔵・封印を選んだほどの禁書ばかり。

だが、その殆どに用はない。

私の目的はただ一冊。

この場に秘匿されし書の中でも特に旧く、桁外れに強力な神代の魔導書。

この世の誰にも扱えぬとすら言われる異法の書を手に取る。

願わくば。

我が手によりて彼の怨敵に滅びが訪れんことを。

F i n n .

(後書き)

よくある感じの剣と魔法の世界でよくある感じの悪ボスキャラによくある感じの王国をよくある感じの展開で滅ばされた王子が復讐を誓います。

この後の展開としては、光の勇者W一行に加わって魔王的な存在となった“アレ”を滅ぼしたあと、何も告げることなくいずこかへと去っていくといったものを考えていますが、ぶっちゃけ小説にする気は一切ありません。ただの妄想とか裏設定とか、そんなものです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4334o/>

SS「亡国の王子」

2011年10月8日03時19分発行